



全国農業高等学校長協会会員の皆様へ
～土壌医検定試験のご案内～

2024年5月
(一財) 日本土壌協会

土壌医検定試験とは

2009年に肥料価格が高騰したことを契機に、土壌診断や施肥指導に携わる人材の育成を図るために2012年から始まった制度です。農林水産省、全国農業高等学校長協会、全国農業協同組合連合会などの後援を受け、(一財)日本土壌協会が実施しています。

2021年策定された「みどりの食料システム戦略」でも土づくりの重要性がうたわれており、近年、受験者が増えています。

試験のレベル

土壌医検定試験には、1級～3級の3つのレベルがあります。農業高等学校の生徒さんが受験するのは主に土づくりに関する基礎的な知識・技術の習得を目的とした3級です。3級を受験されるのは、主に農協の職員、肥料や農業機械メーカーの職員、生産者の方などですが、受験者全体の1～2割を農業高等学校の生徒さんが占めています。

2級にチャレンジする生徒さんもでてきています。都道府県の普及員や農協やメーカーのシニアの方なども受験するかなり難易度の高い内容になりますが、2023年度は福井農林高等学校の生徒さん2名が合格され、地元のメディア等で大きく取り上げられました。

アグリマイスター顕彰制度との関係

土壌医検定試験は、全国農業高等学校長協会のアグリマイスター顕彰制度の対象資格となっています。

受験会場

全国23カ所の試験会場(一般会場)^{※1}があり、希望する会場で受験できます。また、生徒さん専用の会場(団体専用会場)^{※2}を設置していただくことも可能ですので、ご関心のある方は、まずご連絡下さい。ご連絡いただいた方には資料(「準会場設置の手引き」)をお送りします。

※1 2022年度は高崎会場(群馬県)と東金会場(千葉県)が、2023年度は帯広会場(北海道)が新設されました。2024年度の会場はさらに増える見込みです(7月のパンフレットに掲載します)

※2 農業高等学校の団体専用会場(2023年度)

栃木県立栃木農業高等学校、岐阜県立岐阜農林高等学校、岐阜県立加茂農林高等学校
岐阜県立大垣養老高等学校、岐阜県立郡上高等学校

(福井県立福井農林高等学校、長野県立南安曇農業高等学校は一般会場となっています)

農業高等学校向けの団体割引制度

今後の農業を担っていく者を支援するため、農業高等学校向けの団体割引制度を設けています（学校単位で申し込みされた場合、3級受験料5,500円が2,970円になります）。

ポスター及びパンフレットへの写真掲載

毎年度のポスターとパンフレットに受験校の写真を使わせていただいています。受験の励みになるという声も頂いています。

【よくあるご質問】

他の農業高等学校と一緒に団体専用の会場を設置することはできますか？

できます。団体専用会場の設置には原則として15名以上の受験申込者（見込みも可）が必要ですが、複数の学校で要件を満たしていただくことも可能です。

一般会場で受験しても割引は適用されますか？

適用されます。一般会場で受験する場合も、農業高等学校の団体専用の申し込みをしていただければ団体割引が適用されます。

団体専用会場で教員も受験できますか？

できます。農業高等学校に設置された団体専用会場で、教員の方も受験できます。

内容が近い教科は？

「栽培と環境」になりますが、農作物の栽培全体に関わる内容となっています。

生徒向けの受験対策研修はありますか？

あります。ご要望があれば、土壤協会の職員または、地域土壤医の会の会員が研修を行いますので、お気軽にご連絡下さい。

生徒さんの感想は？

「生産者の方の言葉がわかるようになった」、「思ったより栽培との関係が深い」等の感想を持っているようです。合格された生徒さんの声は下記のwebサイトで紹介しています。

<https://soil-doctor.net/voice>



- ☆土壤医検定試験の情報は、全国農業高等学校協会のホームページでも随時提供します。
- ☆準会場の設置、団体申込、研修等に関するお問合せ、土壤医検定試験に対するご意見をお待ちしています。

一般財団法人 日本土壤協会
専務理事 瀬川、 土壤医部 高橋、志賀
TEL:03-3292-7281 FAX:03-3219-1646
E-mail : admin@doiken.or.jp



(参考)

土壌医検定試験の資格とレベル

資格名	検定試験	レベル
土壌医	土壌医検定1級	土づくりについて高度な知識・技術を有し、また、5年以上の指導実績又は就農し土づくりに取組んできた実績を有する者で、処方箋作成とともに施肥改善、作物生育等改善の指導ができるレベルにある者。
土づくりマスター	土壌医検定2級	土づくりに関し、やや高度な知識・技術を有するとともに、土壌診断の処方箋を作成できるレベルにある者。
土づくりアドバイザー	土壌医検定3級	土づくりに関する基礎的な知識・技術を有し、土づくりアドバイザーとして対応できるレベルにある者。

令和6年度（2024年度）土壌医検定試験及び資格登録等に関する年間基本計画

年月	項目	備考
令和6年3月	令和5年度2級、3級合格者発表	3月25日（月）当協会ホームページ
4月	令和5年度1級合格者発表	4月22日（月）当協会ホームページ
令和6年7～10月	関係機関、団体等へ研修会、試験案内及びポスター、パンフレット等送付	
9～11月	研修会申込受付	1級、2級、3級、レベルアップ
10～12月	研修会実施	1級、2級、3級、レベルアップ
11～12月	検定試験願書受付	11月1日（金）～12月11日（月）
令和7年2月	検定試験実施	2月9日（日） 全国8会場、農業高校他
3月	合格者発表（全級）	3月26日（水）※予定
（随時）	土壌医の会組織化申請受付	
（随時）	資格登録、更新手続き申請受付	
（随時）	農業高校、農業大学校、農協等の出前研修受付及び実施	講師：当協会職員または地域土壌医の会の「土壌医」等

級別試験申込者数の推移

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	前年度増減
1級		207	152	140	119	133	137	129	88	110	91	98	7
2級	1,135	1,104	1072	1,133	1,121	1,128	1,049	1,138	1,151	1,220	1,291	1,376	85
3級	822	1,390	2353	1,744	1,612	1,750	1,619	1,498	1,618	1,709	1,754	1,757	3
合計	1,957	2,701	3577	3,017	2,852	3,011	2,805	2,765	2,857	3,039	3,136	3,231	95

職業等別試験申込者数の推移

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	前年度増減
会社員	945	1,992	2,790	2,066	1,713	1,679	1,347	1,226	1,206	1,292	1,296	1,356	60
J Aグループ	150	167	163	209	237	220	308	271	322	334	368	369	1
公務員、公益団体職員	181	134	150	151	194	191	180	214	176	189	207	235	28
農業者、農業法人	118	91	142	111	138	221	281	329	288	354	411	421	10
自営業	56	46	0	0	0	24	17	18	35	49	51	69	18
農業高校生	77	49	130	263	261	286	282	231	326	342	258	194	▲ 64
農業大学生	17	23	27	34	92	108	185	197	221	196	209	209	0
大学生、大学院生	64	65	80	64	110	131	134	163	149	154	160	208	48
短期大学生、専門学校生	2	8	0	21	18	22	20	18	34	5	57	17	▲ 40
その他	347	126	95	98	89	129	51	98	100	124	119	153	34
合計	1,957	2,701	3,577	3,017	2,852	3,011	2,805	2,765	2,857	3,039	3,136	3,231	95

試験級別の合格者数と合格率 (名)

	2023年度				2022年度			
	申込者	受験者	合格者	合格率	申込者	受験者	合格者	合格率
1級	98	86	14	16.3%	91	81	17	21.0%
2級	1,376	1,203	320	26.6%	1,291	1,147	320	27.9%
3級	1,757	1,584	882	55.7%	1,754	1,588	913	57.5%
計	3,231	2,875		—	3,136	2,816	1,250	—